

広報

てび

2012

6

No. 457



特集 城下に広がる海の恵み

写真は大神漁港施設内の様子

城下に広がる海の恵み



北からは周防灘と伊予灘からの内海水が流れ込み、南からは豊後水道の分枝流が流入する別府湾。この別府湾北奥に豊かな水産資源を持つ日出町の海があります。

これから城下かれい、ハモが美味しい季節、秋から冬にかけてはアジ、イカ、ナマコ。日出町近海の豊かな漁場を守るために、農林水産課は町内漁業者と協力してさまざまな取り組みにチャレンジしています。

城下の恵み「城下かれい」

鹿鳴越連山かなごえに降り注いだ雨が、長い年月を経て町内のいたるところで湧き出している日出町。良質の水は日出城址から見渡す別府湾の海中にも湧き出しています。海水と真水が入り混じる海で育つマコガレイを「城下かれい」と呼びます。

水深80mから4mの間の泥の中に生息するというマコガレイ。浅い海で育った魚の方が深い海で育ったものより品質が良いとされています。

城下かれいが住む海域は深さ3mから5mと浅く、湧き出る真清水の影響で泥臭さが少ないのが特徴です。真清水の周りには、アマモなどの海藻が育ち、魚たちの餌となるヨコエビやゴカイ類が数多く生息しています。そんな豊かな自然環境の下で育つ城下かれいは上品な甘さと弾力ある歯ごたえが魅力です。

お殿様も食べていた

江戸時代には「王が余すことなく召し上がる美味な魚」という意味の「王余魚」と呼ばれていたカレイは、徳川家に献上されていた。

4年に一度、端午の節句（旧暦の5月5日）に間に合うよう、船のいけすで3日、さらに早馬を乗り継ぎ3〜4日、生きたままのカレイを海水と和紙を使って保存し、江戸へと運んでいたそうです。

しかし、運搬に大変なお金がかかるため、後に干物にして献上するようになったとされています。いずれにしても庶民の口にはなかなか入らない高級魚だったことから殿様魚とも言われていました。

城下かかれい祭り

5月12日（土）と13日（日）に開かれた「第27回城下かかれい祭り」。カレイの供養と、城下で育まれたカレイを多くの人に味わってもらおうと、旬に合わせて開かれます。

昭和の初め頃、地域の人たちの手で行われていた「カレイ慰霊祭」は、多彩な催しが開かれる地



城下の海を眺めながらの野点

域の祭りへと少しずつ形を変え、戦後、マコガレイ研究をしていた佐藤羊三郎氏がかかれい祭りの原点ともいえる、「稚魚放流豊漁祭・供養祭」を始めました。

現在は、神事や稚魚の放流、城下かかれい賞味会のほかに、地域の海産物を味わえる味ひろばや、別府湾を眺めながらの野点、初夏の夜を彩る花火大会など、イベントが数多く行われ、幅広い年代の方が参加する、町の風物詩になっています。

旬の時期に味わう

東京の市場では1kgあたり、10,000円程度で取引されるという高価な魚ですが、年に一度のかかれい祭りでは、手頃な値段で味わうことができます。

様々なイベントが企画される中、毎年人気を集める「ミニ懐石賞味会」。今年は1,200食が用意されました。

旬のこの時期、身の厚みも、甘みも増すカレイのミニ懐石を楽しむに、メイン会場の日出小グラウンドでは、200食分の当日券を求めて町内外から訪れたお客さんが



唐津のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に嬉しそうに利仁くん



お魚大好きという莉愛ちゃん

長蛇の列を作っていました。

以前から食べてみたかったという、唐津市の大谷さん。今年はインターネットの事前予約の受付開始後、すぐに申し込み、日出町に嫁いだ娘さん家族と一緒に舌鼓を打っていました。

日田市から訪れたという高倉さん家族は、2歳になるお孫さんが魚好きということもあり、初めてかかれい祭りに参加しました。おばあちゃんやお父さんのお皿からも刺身を分けてもらっていた莉愛ちゃん。美味しい魚には目が無いそう、城下かかれいをお腹いっぱい食べ、ご機嫌の様子でした。



「この時期は本当に身が白くて美しい」と語る幸喜屋の河野さん

専門店であわう

三二懐石賞味会は町内の専門店の協力のもとで成り立っています。漁獲高が多くない城下かかれい。その希少価値ゆえに、全国から訪れる観光客がその味を求め、GW時期にはカレイの市場価格は高騰します。そのため、かかれい祭りでは提供される魚を集めるのは苦労するそうです。

年に一度のお祭りですし、楽しみにしているお客さんのためにもがんばって集めます」というのは、この賞味会がスタートした時から参加している幸喜屋の河野さん。

2日間約400食を提供するため、当日は4人の板前さんが朝5時半から板場につきつきりで調理し、息つく暇もないそうです。

「準備段階から大変なことも多いが、お客さんに『美味しい』と言われるのがんばっていい良かったと思う」と、話しました。

冬場に産卵を終え、次の産卵に向け栄養を蓄えたこの時期のカレイは、見た目からふっくらとしており、その身は澄んでいます。刺身、煮付け、からあげ、どんな調理をしても良いそうです。

河野さんは「日出の名物のカレイをもっと食べてもらい、城下かかれいの価値を広く知ってもらいたい」と語ってくれました。

未来へつなげる

江戸時代から親しまれている城下かかれいですが、年々その数が少なくなっているのが現状です。その一因として、産卵場所の減少が挙げられます。

そこで、城下かかれい祭りでは、町の間育成施設で育てた稚魚

を、町長や子どもたちの手で放流しています。「かかれいの赤ちゃん、小さくてかわいいね」と、笑顔で海に稚魚を放す子どもたち。

この子どもたちが大人になったときにも、日出町自慢の味として、城下の海が育む恵みを楽しんでくれるように、守り育てていくことを考えなければなりません。



「大きくなってね」と稚魚を放流する子どもたち

育てる漁業を支える環境整備

現在、水産王国ニッポンの漁獲量は減少傾向にあることが確認されています。水産白書によると、漁業・養殖業生産量は、平成21年度で543万トン、最も多かった昭和59年（1,282万トン）の約半分となっています。

健康志向の高まりによって、食が世界に広がったことや（一人あたりの消費量は50年前の2倍）、地球温暖化による水温上昇など魚の住む環境も大きく変わってきていることが原因と考えられます。

育てる漁業への取り組み

もともと日出町近海の漁場は、内海であるためプランクトンが溜まりやすく、魚たちが住みやすい環境が整っている場所です。しかし、獲るだけの漁業では、さらに魚が減り続けていくだけです。まして、町の宝物である「城下かれい」は絶滅の危惧さえあります。

そこで町では、獲るための魚を育てようと平成12年から中間育成施設でマコガレイの稚魚を養殖し、年間約13万匹の放流を続けています。

また、城下かれいだけでなく、多くの魚の幼稚魚が成長していくうえで欠かせない海藻のアマモ場の整備も、平成19年より取り組みをはじめました。昨年の実証実験では、着実に着床をみせており、将来アマモ場が広がることが期待できます。

ほかに、県や県漁協日出支店と協力して、魚が住みやすい環境を整えるため、海上清掃を定期的に行ったり、人工魚礁を設置して魚の住処を作るなどの取り組みを行っています。

漁師のみなさんも、魚を減らさない取り組みとして、獲る量や禁

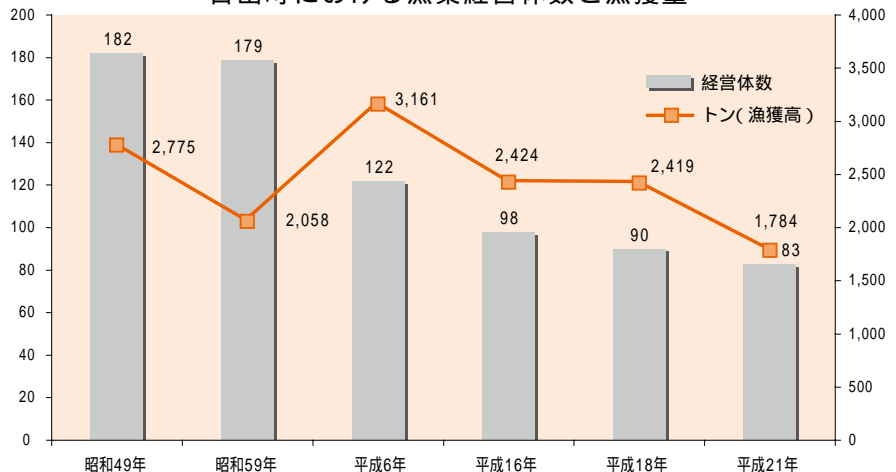
母なる海的环境を保ち、持続可能な漁業を实践

網にかかる城下かれい



中間育成施設の様子

日出町における漁業経営体数と漁獲量



漁期間を決めたり、小さな魚は獲らないなどの約束事を作って魚を増やす取り組みを行っています。効果を出すには、住民のみなさんの協力も必要です。海にゴミを捨てないなどはもちろんのこと、禁漁期間に魚類を獲らない、放流した稚魚を掘らないなどのルールを守ることが貴重な水産資源を守ることに繋がってくるのです。

町の水産振興の先陣は俺たちがきる

大分県漁業協同組合日出支店青年部の取り組み

城下かれい祭り当日、県漁協日出支店青年部のみなさんが、日出港で「漁師の味ひろば」を開店し、日出町で獲れる魚の美味しさを広く知ってもらおうと頑張っています。



新鮮な魚介類やぶり丼を威勢よく販売する青年部の皆さん

今、漁業者を取り巻く環境は決して良いとは言えません。水産資源の減少や魚価の低迷に加えて、重油の高騰など漁家経営は厳しい状況にあるといえます。

1回漁に出ると燃料費だけで1万円ほどのコストがかかります。年間にすると多い人で300万円を超えるともいいます。また、漁業者自体の高齢化も進んでおり、60歳以上が7割を占めている状況です。

こうした状況に青年部（現在部員14名）では、新しい海産物の開発や出荷数量の拡大、あるいは漁獲物に付加価値を付けるなどの所得向上にチャレンジしています。

日出町では、小型底曳き網漁業の漁家が一番多く、獲れる魚はアジ・イカ・イボダイなど多種多様です。最近では、ハモの漁獲量が増加しており、10月上旬から11月下旬ごろには多い日で2トンを超える水揚げがあるほどです。しかし、水揚げが増えるということは単価下落を招く結果にもなります。

そのため、青年部では、このハモの高付加価値化を図るため、ハモを陸上水槽に蓄養し、漁獲量が減少する季節に出荷する蓄養試験を行いました。結果も上々で、小型底曳き網漁を営む漁家とも協力体制が整ってきました。

さらに昨年度から、牡蛎の養殖にも意欲的に取り組んでいます。

牡蛎は、バーベキューの食材にするなど一般家庭でも扱いやすく、消費量の多い海産物であることに加え、牡蛎殻は魚礁の素材や肥料の材料として使用されるなど、再利用の用途が多い素材であることも青年部が取り組む理由となったそうです。

青年部の活動をきっかけに県漁協日出支店では、ハモ部会を新たに設置し、多様な流通に対応した生産・販売体制の構築に向けた活動にしていきたいと意気込んでいます。

今後は、魚のさばき所の設置や、魚介物の加工所設置など水産業の六次産業化も計画していきたいと話していました。



美味しいね!! ぶり丼

個性を活かした 産品作りへ

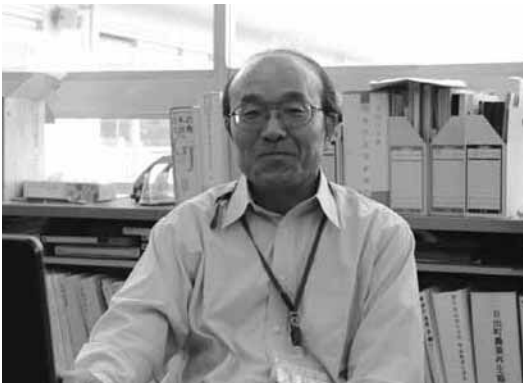
町の水産振興を担当する農林水産課長の村井栄一に、業務内容や町の現状を聞きました。

農林水産課の業務について

現在、18名の職員で農業、林業、耕地、水産業の振興・管理、そして地籍調査を行っています。

農業関係では、地元産農作物の直売所販売支援や、学校給食での使用など、地産地消及び販路拡大推進を行っています。同時に、農道や水路の整備・管理も行います。

林業に関しては、最近、数が増



熱い思いの中にも笑顔で答える村井課長

え農作物に被害を及ぼすイノシシやシカなどの有害鳥獣対策や町有林の除草刈りを行っています。

そして、水産業は漁船の給油所などの施設整備のほかに、稚魚放流、アマモの育成実験や魚礁整備など、魚を育てる環境作りを行っています。

最後に地籍調査ですが、土地の面積、所有者を正確に調査、境界を確認するといった業務を担当しています。

課題と取り組み

農業に関しての重点課題は、耕作放棄地対策です。後継者不足や高齢化が進み「10年後の農地はどうなるのだろう」と不安に思っている方も多いと思いますが、これには、「チャレンジ支援事業」として耕作放棄地の利用者の募集、農地集積を行って農地を守っていきます。

また、イノシシの増加は大きな問題となっていますが、電気柵などのイノシシ対策の取り組みが効果をだし始め、数は若干減りました。しかし、新たな課題としてシカ被害も予想されることから、獣害対策に、今後も積極的に取り組んでいきます。

水産業も同じように後継者の減

少と高齢化が進んでいます。さらに漁獲量の減少、魚価の低迷、原油価格の高騰など多くの課題を持っています。

今後も、漁業従事者と協力していくことが大切で、獲った魚を無駄にすることなく、すべて販売する仕組み、たとえば水産加工所の設置などを検討しているところです。

農業・水産業ともに言えることですが、日出町は出荷数量こそ多くはないですが、非常に多くの種類の農産物・海産物があります。

「量は多くないが、何でもある」みなさんが大切に育てた資源を上手く加工し、タイミングよく流通させる方法を考えなければなりません。

農林水産課課長から一言

「作る・獲る」だけでなく、産品に付加価値を付ける方法を考え、携わる方々の所得の向上につなげていきたいと考えています。農林水産に係る困りごとがあれば、いつでも相談ください。

みなさんの生の声を聞かせてください。できる限りの支援ができるよう努力します。

農林水産課 73・3127

城下かかれいの生態を観察して

「城下かかれい祭り」でも小さな子どもたちに大人気だった、マコガレイの水槽が二の丸館に設置されました。

城下の海の環境を再現した水槽の中には、アマモが揺れ、体長10cm程度のカレイが10匹生息しています。

城下かかれいは敵から身を守るため泥の中に潜っています。よく目を凝らして見ると、体に特有の斑点模様がついたカレイの目玉が砂から出ています。地元で獲れるカレイが水の中で過ごす様子を是非観察してみてください。



二の丸館で公開中

日出町ポータルサイト「ひじjin.com」

広報紙に掲載されなかった写真やイベントなど身近な情報が満載。

[http://hijjin.com]

慶賀訪問

100歳おめでとう

4月25日、安倍綾子さん（日出中央）が100歳の誕生日を迎えられ、工藤町長が安倍さん宅を訪れ、表彰状と記念品を贈りました。

この日を楽しみにしていたという綾子さんは、お祝いの言葉を述べる町長の手を握り「ありがとうございます。ありがとうございます。」と話しました。

綾子さんのお母さんは101歳までお元気だったそうで、親子2代にわたって100歳の祝いの日を迎えられることを喜んでいました。



町長や家族に囲まれる綾子さん



蘭の花が好きというサトさん

5月10日には、工藤サトさん（日出中央）の入所するジュエル藤原を町長が訪れ長寿を祝いました。

綺麗に化粧し、施設職員手作りの髪飾りを付けたサトさんに町長が「美しいですね」と声をかけると照れ笑い。若い頃からお洒落が好きだったそうで、今でも毎朝の肌の手入れを欠かさずに続けています。

夜の祝いの席には、遠くに暮らす子どもや孫が集まるので、揃って食事をするのを楽しみにしていました。

おふたりともおめでとうございます。

次世代に伝えていかなければ

回天神社例祭

太平洋戦争中、回天作戦で命を落とした1073柱の御霊が祭られる回天神社で、4月25日、例祭が行われました。

大神回天会のメンバーや海上自衛隊佐伯分遣隊の本田正勝隊長など、関係者およそ40名が集まり、軍艦旗を掲げ、参列者が玉串を捧げて戦没者を悼みました。

大神回天会の岡本恭一事務局長が「会員の高齢化が進んでいるが、この例祭を末永く続けていきたい」と述べ、参列した副町長が「当時の様子や体験を次世代に伝えていかなければならない」と挨拶をしました。



全国から関係者が集まりました

区長会との連携を強化

日出町区長会総会

4月25日、役場大会議室で区長会総会が開催され、71名の区長（総数77名）が出席しました。

はじめに町長が、「町政の発展には区長会との連携が重要であり、今後とも協力していただきたい」と挨拶。その後、平成24年度の事業計画等が審議されました。

終了後、総務課より区長を非常勤職員として委嘱し、より確かな関係を構築していく新しい区長制度について説明がありました。



よろしく願います

民生児童委員

解嘱・委嘱伝達式

5月7日、役場応接室で民生児童委員の解嘱委嘱伝達式があり、町長が委嘱状を手渡しました。

3年間、委員を務めた中井康雄さん（日出団地）は、「団地内を、民生委員として個別に訪問することで、新たな付き合いが生まれた。外出が難しい高齢者が地域の活動に参加できる方法を考えなければならぬ」と任期中の感想と、今後の課題を述べました。

新たに委嘱された岩崎初代さんは、「頼もしい先輩に相談しながら、高齢者の方に笑顔で接していきたい」と決意を述べました。



委嘱状を受け取る岩崎さん

甘い香りが漂うハウスで

園児のいちご狩り体験



立派ないちごを見せあう園児たち

5月18日、大神の岩城農園で幼稚園児のいちご狩り体験がありました。4年前から行われているもので、この日は日出幼稚園の園児46名が8アールのハウスに突っただちいちごを収穫しました。

酸味が少なく、甘いいちごを口いっぱいほおばり、白いシャツに果汁で水玉模様のしみを作りながら「美味しい」と笑顔を見せました。

「お母さんにお土産」と、形や色が美しいものを見つけては次々摘み取り、いっぱいになったいちごのパックを大事そうに抱える園児の姿に、園主の岩城保さんは「子どもたちが喜ぶ姿を見るのが嬉しい」と語りました。

檜迫氏世界の舞台へ

空手道世界大会出場

5月15日、檜迫義治さん（西小深江）が10月に行われるW・K・Oカラテワールドカップ（タイ政府主催）への出場報告に役場を訪れました。

べつぷアリーナで5月13日に行われた選抜戦の一般男子上級75kg以上の部で優勝し、出場権を得ました。

練習に夢中になると寝ることも忘れるという檜迫さんは現在39歳。初めての世界大会出場に闘志を燃やしていました。

「一流の鍛練を重ねていて素晴らしい。国際大会で成果を上げてほしい」という町長の激励の言葉に、檜迫さんは、「心・技・体の強化を図って自分らしく試合に望みたい」と決意を語りました。



健闘を祈ります

広報ひじ

全国広報コンクール入賞

地方自治体の広報活動の向上を目的に行われている全国広報コンクールで2011年8月号の「広報ひじ」が佳作に入賞しました。

広報紙、ウェブサイトを、広報写真などの5媒体10部門に寄せられた510点の作品の中から、戦争の爪跡と題し特集したものが、広報紙（町村部）の部門で佳作に入賞しました。

今後とも町民のみなさんに親しまれる紙面作りを心がけてまいります。ご協力のほどよろしくお願い致します。

2011年8月号の「広報ひじ」は、あいにく配布終了いたしました。PDF版は日出町HP↓町政↓広報ひじのページからダウンロードできます。



後期高齢者医療保険料率の引き上げについて

保険料率は2年ごとに見直しを行っています。今後、さらなる高齢化の進行や医療費の増加が見込まれることから、保険料率を引き上げることになりました。

今回の引き上げは、後期高齢者医療制度を安定的に維持し、安心して医療を受けていただくためのものです。ご負担をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

	22・23年度	24・25年度
均等割額	47,100円	48,500円
所得割額	8.78%	9.52%
賦課限度額	50万円	55万円

問合せ
税務課住民税係 73 3123

6月1日～7日は水道週間 さあ今日も 水と元気が蛇口から

6月1日～7日は水道週間

水道週間は、水道について広く国民のみなさんの理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ることを目的に国が定めたものです。

町では「安心、安全な水」、その信頼にお応えするため定期的な水質検査や老朽した配水管の更新事業を行っています。水は、私たちの生活に欠かすこ

交通安全を推進

交通指導員を募集

とのできない大切な資源です。蛇口はしっかり閉める、こまめなメーターチェックで漏水防止するなど、無駄なく使しましょう。

問合せ 上下水道課 73 3134

子どもの登校時の安全を見守る「交通指導員」を募集します。

募集人員

豊岡・大神・日出の各地区1名
任期

購入補助が出ます

設置に際して

ごみステーション設置及び家庭用生ごみ処理容器の設置に補助金が出ます。

ごみステーション設置

対象

町内のごみステーションを設置する自治区

補助金額

ごみステーション設置総額の2分の1とし、限度額は1箇所につき30,000円

家庭用生ごみ処理容器

対象 町内在住の方
補助金額

平成24年10月1日～平成25年3月31日
職務内容
交通安全の推進及び普及/学童及び園児の交通事故防止/車両等の交通安全/街頭指導/その他交通安全指導
報酬
年額55,000円
(平成24年度は6カ月間のため27,500円)
募集締切 7月20日(金)
問合せ 生活環境課 73 3128

いよいよスタート

日出町出会い応援事業

5月20日、出会い応援事業のオープニングセレモニーが中央公民館で開催されました。

今年度から実施する事業で、カップリングパーティーや、婚活セミナーなどが計画されています。セレモニーでは「婚活先生」こと酒井佐穂さんが「婚活の現状とこれから」と題し講演しました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、アドバイザーとして工藤町長、パネリストとして消防団女性部長の塩内公子氏や、商工会青年部長の田村悟氏などが参加し未婚率の上昇などについて議論を交わしました。

婚活中の方はもちろん、親世代の参加も見られ、今後定期的に行われる婚活イベントに大きな期待を寄せていました。

1基につき購入金額の2分の1とし、1世帯につき2基まで。ただし、限度額があります。
電動式
1基につき 20,000円
電動式以外
1基につき 3,000円
問合せ 生活環境課 73 3128

オーシャンビューで過ごす 32 人パーティー

海を眺めながら婚活パーティー
土曜日のお昼、目の前に広がる海を眺めながらランチとおしゃべり、
まずは気軽に参加してみませんか？

日時 6月30日(土)
11:00(10:30より受付開始)~13:30
場所 ホテルソラージュ大分・日出
定員 男女各16名ずつ(抽選)
対象者 30~40代の独身男女
料金 4,000円(昼食付、ノンアルコール)
受付・問合せ
政策推進課 73-3116
6月14日(木)より大分出会い応援センター
でも受付ます。 097 599 3179

*参加決定者には6月21日(木)までに大分出会い応援センターより確認の連絡が届きます。参加決定の通知を受けてからのキャンセルはできません。参加費全額のキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

*健全な出会いイベントを運営するため、本人確認や独身であることを確認させていただきます。詳しくはお電話でお問い合わせください。

古いアルバムを見返してください

日出町の昔の様子分かる写真を募集しています。懐かしい町並みや、今は見ることの少なくなった地域の行事など、みなさんがお持ちの写真をお寄せ下さい。

日出町の貴重な資料として保存する他、「広報ひじ」等で紹介させていただきます。

提出方法

1~5の内容と写真もしくは、データをお送りください

1. お名前(ふりがな)
 2. 郵便番号・住所・電話番号
 3. お名前の掲載の可否
 4. できるだけ詳細な撮影場所
 5. 撮影年月日
- 4・5に関しては分かる範囲で構いません

<郵送・持参の場合>

お預かりした写真は、こちらで複製した上で、返却いたします。

<メールの場合>

4MB以下のjpg方式でお送りください。データは返却いたしません。



現役場前の写真

*使用の際には画像に加工を加えさせていただく場合もあります。

*著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。著作物を使用する場合は、必ず権利者の承諾を得た上でご投稿ください。

募集期間 随時

提出・問合せ 政策推進課 73-3116

メール info@town.hiji.oita.jp

食育月間 6月は食育の月

毎年6月は食育月間。毎月19日は食育の日です。

食育とは、さまざまな経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることです。この機会に、自分の食生活を見直して、健康な体をつくりましょう。

また、栄養バランスのとれた食生活を心がけるとともに、家族そろった楽しい食卓、食の安全に関する意識を高めましょう。

おいしく、たのしく学ぶ

「おいしく食育講座」を開催します

とき	7月18日(水) 10時30分～13時30分
ところ	保健福祉センター
内容	夏バテ予防の食事(朝ごはん編)講話と調理実習
持ってくるもの	筆記用具、エプロン、三角巾、タオル
定員	25名 先着順
参加料	無料
申込	6月29日(金)までに電話でお申し込みください。
申込・問合せ	健康増進課 73 3130

食育についての講座は年間2回開催されます。
2回目は平成25年2月20日(水)開催予定です。

児童手当制度

平成24年度4月から「子ども手当制度」は「児童手当制度」に変わり所得制限が設けられました。

支給対象

中学校終了前(15歳到達後最初の3月31日まで)の児童の保護者

支給額

0歳～3歳未満	15,000円
3歳～小学生 第1子・第2子	10,000円
第3子以降	15,000円
中学生	10,000円

所得限度額以上の方 年齢に関係なく5,000円(6月以降から導入)
平成24年6月分(10月支払い分)以降の手当から所得制限が設けられます。

平成23年10月分からの子ども手当受給にかかる「認定請求書」を提出していない方は、9月28日(金)までに申請してください。

6月の定期払いの手当振込は6月13日(水)です。

児童手当現況届の提出

手当を受給している方は、毎年6月中に「児童手当現況届」の提出が必要です。提出がない場合は、翌月からの児童手当の支給ができなくなります。必ず提出してください。平日の届出が難しい方は休日受付をご利用ください。

休日受付 6月24日(日) 8:30～17:00

問合せ 福祉対策課 73 3121

健康 子育て

6月の休日当番医 健康増進課 73 3130

*診療時間 9時～17時

*町報発行後に休日当番医が変更になる場合があります。各医療機関や健康増進課にご確認ください。

3日	鈴木病院	73 2131
10日	サンライズ酒井病院	72 2266
17日	川崎診療所	72 1611
24日	てしまこどもの杜クリニック	28 0870

6月の休日当番医

1日	松本整形外科クリニック	73 - 2775
8日	江本眼科	28 1700

日出町地域子育て支援センター
28 1212

子育て広場・子育て相談
月～金 9時～16時
赤ちゃん広場(0歳～)
1日(金)・5日(火)・14日(木)19
日(火)10時～12時
エアロビクス教室(0歳～就学前)
8日(金)・22日(金)10時45分～
誕生会(0歳～就学前)
18日(月)11時～
赤ちゃん歯科講習会(0歳～2歳)
19日(火)10時45分～11時45分
パパプレゼントを作ろう(～就学前)
21日(木)10時～ 町中央公民館
歯科講習会(0歳～就学前)
26日(火)11時～12時

日出町児童館 72 0323

親子リトミック教室(乳幼児と保護
者・要申込)5日(火)11時～12時
ボールを持って来て下さい
絵本の読み聞かせ(乳幼児と保護者)
15日(金)11時15分～11時45分
WAKUWAKU つみきくらぶ(乳幼
児と保護者)27日(水)10時30分
～12時

さざんか児童館 72 8383

絵本の読み聞かせ
4日(月)・9日(土)10時30分～
赤ちゃん広場(0歳児・要申込・200円)
8日(金)10時30分～
巡回児童館(スマイル子育て相談会)
15日(金)10時30分～ 中央公民館
わくわく保育園(平成20年4月1
日～平成21年3月31日生・要申込・
昼食代1組400円)
22日(金)10時15分～
子どもを守る勉強会(要申込)
28日(木)10時～
みんなで誕生日パーティー(乳幼児・
要申込・200円)29日(金)10時30
分～
親子グループ活動 10時30分～
0～1歳児 6・13・20日(水)
2歳児 7・14・21日(木)
3～5歳児 12・19・26日(火)

講座案内 目指せ！生涯現役！！

65歳からの元気アップいきいきセミナー

それぞれの年代ごとに、家庭や社会での役割は変わってきます。そうした中で自分らしく、生きがいをもって過ごしたいと願う方も多いと思います。

日出町ではこれからの過ごし方のヒントとなる6つの講座を開催します。交流を図りながら、楽しく学びませんか？

対象者 日出町にお住まいの方

昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれの方にはご案内を差し上げます。

定員 40名

ところ 中央公民館 7月24日のみ町営体育館

申込 6月26日(火)までに電話でお申し込みください。

申込・問合せ先 健康増進課 73 3130

実施内容

とき	内容	講師
7月3日(火)	講義 「心豊かなスローライフを作ろう～地域のぬくもりをつなぐのはあなた～」	別府大学 准教授 佐藤敬子氏
7月10日(火)	講義 「元気アップの食事のヒント」	日出町 管理栄養士 中尾千里
7月17日(火)	講義 「おいしく、楽しく、安全に食べるためにできること」	別府リハビリテーション センター 言語聴覚士 小林典子氏
7月24日(火)	講義と実技 「筋力アップで若返り！」	別府大学 健康運動指導士 長野力氏
7月31日(火)	講義 「自分も相手も大事にできる会話術」	大分県社会福祉士会 理事 明石二郎氏
8月7日(火)	講義と意見交換 「日出町の現状報告」「これからの私にできること」	日出町健康増進課職員

付加年金制度のご案内

国民年金の第1号被保険者・任意加入被保険者が定額保険料(月額14,980円)に付加保険料(月額400円)をプラスして納付すると、老齢基礎年金に付加年金が上乘せされます。

上乘せされる年金の額は、200円×付加保険料納付月数。老齢基礎年金と合わせて受給できる終身年金です。

申込月から納付が可能ですが、翌月末日の納付期限を過ぎると納付できません。ご注意ください。

問合せ先 住民課年金係 73 - 3122

町政 だより

日出町長 工藤 義見

西尾 崇氏を招いてトップセミナー

現在、国道10号線の4車線化工事が行われ、平成25年度中の完成を目指しています。しかし、私が町長に就任して間もない平成16年末に、国はこの区間の工事を交通量が少なく急施の要なしとして中断、休止を決定しました。

このため、農協前から藤原間1200mの4車線は全く改良の目途が付かなくなっていました。当時、国、県に早急な実施を求めましたが、目途が立たず、当面は、道路シンポジウムなどの開催で、工場の必要性を啓発したらとの結論でした。

そんな折、国の大分河川国道事務所長として赴任された方が西尾 崇氏でした。

西尾所長に土地区画整理をした日出佐尾地区、暘谷駅周辺と高校跡地の開発計画、港湾整備と川崎内野の尖地区の住宅団地計画など、日出町の今後の展望と地域としての重要性や、国道10号線の拡張の必要性を再三にわたり説明したところ、再調査をやってみたいとのこと、自らも周辺の調査にあたり、時折、町長室にも来室されました。

程なくして突然来庁され、年度途中ながら予算の目途も付いたので地元説明会を行うことになるとの連絡。以後、藤原地区、日出地区での説明会を開き、工事の実施となり、現状に至っています。

このようないことから、日出町の恩人、功績者として、4月27日、幹部職員研修の講師として講演会をお願いしました。

氏は、現在、国土交通省企画専門官として活躍されていますが、多忙な中にもかかわらず、「道路行政の最近の動向と日出のまちづくり」と題し、日出町の状況も交えて、関係資料を多数使用し、スライド画面で講演をしてくださいました。

時間をみて別大国道、そして日出区間なども視察され、工事の進捗と日出町の発展を大変喜んでいただきました。

各種総会に出席しての感想

平成24年度がスタート、各種団体の総会が次々に開かれ、前年度の事業や予算の総括を行い、そして新年度の事業計画や予算を基にして活動を始めています。

私もご案内を頂いた団体には、時間の許す限り出席して、ご挨拶を行いました。それぞれにおいて組織の目的に向かつて活動を行っており、日出町の振興、発展に多大の貢献をして頂いていることに深く感謝の意を表しました。

総会に出席して、各種団体の活動の様子や成果をお聞きするにつけ、歴代の役員、会員の皆さんの長年の尽力に感銘の念を強めました。

そんな中で特に印象に残ったことについて、所感の一端を記したいと思えます。

会議運営が大変円滑に進むところ、やや工夫がほしいところなどいろいろですが、特に気にかかることは、決算額や予算額の数字の読み上げです。予算額、決算額、差引額、また、前年予算額、今年予算額、前年比較などを詳しく読み上げる例が多いようです。大きい金額でない場合が大半ですので、いちいち全部を読み上げなくても決算額、予算額のみを説明するだけで良いのではといった印象を受けました。

各総会では、経過報告や予算議案の審議ではあまり質疑がなく、さらに議案が役員改選になると、一段と沈黙が深くなり、執行部案が求められ、決定されています。そんな中で役員からの意見として、会員が高齢化している、会員が減少している、役員になり手がないなどといった声が多く聞かれ、課題を抱えている組織運営が窺えました。

また、総会資料を拝見すると、最近では、会員名簿が無くなって、役員名簿だけになっている団体が多くなっています。それも、住所や電話番号の記載が消えて、名前と役職だけとなっており、会員にとっても、何処の地区の誰なのか分かり難くなっています。

名前、住所、電話番号の不記載は、個人情報保護を配慮してのことです。名前、住所、電話番号を悪用しての事件、事故が多発していることから、犯罪を未然に防止することが狙いですが、悪用を心配しなければならぬ社会の現状を大変残念に思います。

ある団体では、不便で組織運営に支障があるので、役員関係だけでも表示

してほしいとの意見も出されています。

出合い応援事業を推進します

独身者の結婚活動を応援し、婚活に取り組みやすい環境づくりを行うため、日出町の出合い応援事業がスタートしました。年々、男女共に未婚者が増加している状況の中で、これへの対応が求められており、町政の懸案事項でしたが、このたび、平成24年度の事業として予算化を行い、具体的な事業として取り組むことになりました。

4月早々に、関係団体で構成する「婚活推進協議会」を発足させ、今後の事業概要、関係者などへの周知徹底、独身者が結婚活動に取り組みやすい環境づくりなどを行うことを決定しました。具体的な取り組みとしては、

町内のホテル等と連携してカップリングパーティーを実施する。

男子力、女子力アップセミナーや魅力に磨きをかける講座を開催する。

講師を招き婚活に関する講演会を実施する。

当事者、保護者のための婚活相談会を開催する。

そのほか関係者からの要望に応じて必要と考えられる事業、催事を行うなどとしています。

そして5月20日(日)には、本事業のオープニングセレモニーとして「婚活の現状とこれから」と題して基調講演会、パネルディスカッションを行いました。

現在、出合い事業に協力し、応援いただける婚活応援隊への登録を募集しています。奮ってご応募ください。

次号につづく

行政相談

ところ 役場新館3階333会議室
とき 6月5日(火) 10時~15時
問合せ 総務課 73 3150

心配ごと相談

ところ 役場新館3階333会議室
とき 6月12日(火) 10時~15時
問合せ 福祉対策課 73 3121

心配ごと・行政合同相談

ところ 役場新館3F333会議室
とき 6月19日(火) 10時~15時
問合せ 総務課 73 3150

障がい児・者等支援相談

相談先 社会福祉法人「みのり村」みのり障がい者生活支援センター
72 2818

障がい児・者生活支援相談

相談先 太陽の家障害者生活支援センター 72 1682
(受付時間: 8時~17時)

高齢者総合相談

相談先 日出町地域包括支援センター (健康増進課内) 73 3115

家庭児童・母子婦人相談

相談先 福祉対策課 73 3121

いつでも子育てほっとライン

相談ダイヤル 097 545 0110
(24時間 365日受付)

無料人権相談所

相談先 大分地方方法務局杵築支局
0978 62 2271

法律相談 (要予約)

ところ 日出町保健福祉センター
とき 毎月第2・4火曜日(祭日の場合は休み) 13時30分~16時30分

費用 30分につき5,000円
(収入が一定以下の方及び多重債務の相談は無料)

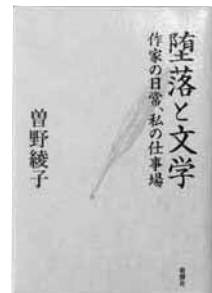
申込・問合せ 大分県弁護士会
097 536 1458

新刊案内



「パンとスープとネコ日和」
群よう子：著 角川春樹事務所：刊

母を突然亡くしたアキコは、永年勤めていた出版社を辞め、母が経営していた食堂を改装して再オープンさせた。安心できる食材を使い、手間ひまをかけるのがアキコのこだわりだ。そんな彼女の元にネコのたろがやって来て...



「墮落と文学」
- 作家の日常、私の仕事場 -
曾野綾子：著 新潮社：刊

私が文学の世界にひかれた最大の理由は、家庭が穏やかではなかったからである。作家生活50年を過ぎた曾野綾子が初めて綴る人生の総決算。『新潮45』2008年~2011年連載を書籍化。



「これでスッキリ「脱!花粉症」
- 今年でお別れ、5つの法則 -
阿部隆雄：著 花伝社：刊

花粉症発症の仕組みとその原因を解説。さらに、「シャンプーは3分以上すすぐ」「食べる物を変える」など、花粉症とお別れするための具体策や、「入れる-まわす-出す」の健康サイクルという考え方を紹介する。



「僕がパパに育つまで」
- シングルファーザーの涙と再生の1年 -
マシュー・ロゲリン：著
服部由美：訳 講談社：刊

愛する娘が生まれて27時間。愛する妻が、死んでしまった。いつでも君に頼りきりだった気弱で、さえない僕。
君が残した宝物を、1人で育てていけるのだろうか? シングルファーザーの感動の実話。

5月の休館日

4日・10日・11日・18日・24日・25日・28日

読み聞かせ

ブーフーウーによる読み聞かせ

とき 6月9日(土) 10時30分~11時30分
・0~3歳向け
とき 6月23日(土) 10時30分~11時30分
・幼児から小学生向け

FUMFUMによる読み聞かせ

とき 6月22日(金) 11時~11時30分
対象 0歳~5歳くらいまで

募集

福祉・介護の職場を体験してみませんか！

福祉・介護に関心があればどなたでも体験できます。申込用紙は、各八戸ワークか市町村の窓口設置しています。

期間 6月1日(金)～平成25年2月28日(木)のうち、原則3日～5日間。
*本人の希望を尊重。

ところ 県内の社会福祉施設

参加費 無料

申込締切 希望の10日前まで

申込・問合せ先 県福祉人材センター 097 552 7000

里親制度説明会

里親とは、様々な事情により家庭で生活を送ることができない子どもを家庭に迎え入れ、温かい雰囲気の中で豊かな愛情を持って育ててくださる方のことで、特別な資格は必要ありません。

ん。

実際に、子どもを里親に委託する期間も、数日から数年まで様々です。児童養護施設等に入所している子どもをお盆やお正月に預かる「トライアル里親」も募集しています。

とき 6月7日(木) 13時30分

ところ 日出町役場33

4会議室

参加費 無料

問合せ先 県中央児童相談所 097 544 2016

放送大学10月生募集

放送大学はテレビやラジオの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

出願期間 6月15日(金)～8月31日(金)

資料請求・問合せ先 放送大学大分学習センター 097 549 6612

まなびの広場
サイエンスフェスタ
科学実験などを体験しながら学ぶ「サイエンスフェスタ」に参加する3年生から6年生の小学生を募集します。

とき 7月22日(日) 10時～15時

ところ 県立社会教育総合センター

参加費 無料

申込期間 6月17日(日)～7月8日(日)

*教室別の先着順。定員になり次第締切ります。

申込・問合せ先 県立社会教育総合センター 227 763

街なかにはぎわいプラン推進事業

県では、商店街をより魅力あるにぎわいの場にするプランを募集しています。審査のうえ優秀なプランについては、応募者に実施していただき、その実施費用の一部を助成します。

応募締切 6月22日(金)

問合せ先 県商業・サービ

入業振興課 097 506 3285

OGフレンド募集

県立芸術会館では、各種事業について直接お知らせし、積極的にご利用いただくとともに、ご支援ご協力をいただくためにOGフレンドを募集します。

案内内容

年間スケジュール

月間スケジュール

企画展のご案内

講演会、美術鑑賞講座などのご案内

申込・問合せ先 県立芸術会館 097 552 0077

講座

子育て支援UPプログラム「パソコン講座」

【オリジナルエコバック作り講座】

とき 7月3・10・17日 10時～12時(毎週火曜)

ところ HITコミュニティセンター

ワードでチラシ講座】

致道館雑話

第一回

藩校の古机で綴る

江戸時代、全国諸藩は藩士の子弟教育のために、そのほとんどに藩校(藩営学校)があった。大きな藩は藩校のほか、町民のための郷校も設けていた。

こうした中、わが日出藩は身分などもとせず、侍の子も町民の子も同じ席で、共に文武に励む藩校兼郷校であった。

幕末の約10年間と短いながら、200余名の8～12歳の子どもたちが、目を輝かせて藩公自らの講義を拝聴する姿がほうふつとされる。それが、わが日出藩校「致道館」だ。九州では藩校の地が県立高校になり、その名と伝統を引き継いでいるケースが多い。福岡藩校は修猷館高校に、柳川藩校は伝習館高校に。さて、門、学舎とも古色にまみれても、155年前の江戸の昔と同じく、学びの場として生き続ける、わが致道館。そんな藩校は全国でもまれなるものでありましょう。

その館長として、本年4月に就任。日出の歴史と未来、現代の生きるヒントを学びあう場として、あり続けるには、と思いをはせる今日であります。

館長・佐藤雅秀

町民文芸

とき 7月5・12・19日
10時〜12時(毎週木曜)
ところ 町保健福祉セン
ター

【エクセルで名簿講座】
とき 7月6・13・20日
10時〜12時(毎週金曜)
ところ HITコミュニケーション
センター

受講料 2,800円
募集期限 6月19日(火)

*年齢・性別を問いませ
ん。有料託児あります。
申込・問合先 パワーウ
ェーブ日出 75 8637

市民後見人養成講座

成年後見人は、認知症や
知的障害などの方の生活費
の管理や介護保険の契約な
どを支援します。市民後見

大神 藤野 和子

かぶ大根ほうれん草とみな長け
てわれの怠惰と叱咤して揺る

豊岡 赤山 らる

一曜の三寒四温に迷いつつブ
ロッコリーは丈けて花咲く

藤原 上田 靖子

預かりしシクラメンの花勢いて
今を盛りに咲き誇りおり

豊岡 蟻川内明子

3・11、午後2時46分東北の被
災地に向き黙禱させよ

内野 濱本紀代子

回天のレブリカ黙し機たはり大
補若葉さやさや語る

日出 永松美知子

かれい祭歴史と逸話が町おこし

日出 大野 仁王

二羽の蝶もつれ昇りて風に消え

豊岡 森永三千代

母の日に二母の好物柏餅

人に關心のある方はもちろ
ん「心配な家族がいる」
将来、認知症になったら
不安」という方のご参加お
待ちしています。

とき 6月30日(土)、7
月1日(日)・21日(土)・22日
(日)

*全4日間10時〜17時。
ところ 県総合社会福祉
会館

備安全協会 097 53
7 3125
うつ病家族教室

うつ病で治療中の方のご
家族が、病気に関する知識
や対応を学ぶ家族教室を開
催します。

とき 第1回 6月27日(水)
13時30分〜16時
第2回 7月11日(水)
13時30分〜16時

定員 30名
受講料 4,800円
申込締切 6月28日(木)
申込・問合先 市民後見
ささえあい 097 54
3 5300

消防設備士試験準備講習会

9月2日(日)に行われ
る消防設備士試験の受講者
向けの講習会です。受講申
込書は、県下各消防(局)
本部などで配布します。

とき 7月22日(日) 9
時30分〜17時

ところ 県教育会館
講習種別 1類・4類・
6類(各甲乙種)
受付期間 6月11日(月)
〜7月10日(火)

提出・問合先 県消防設

参加費 無料・事前申込
が必要
申込締切 6月20日(水)
申込・問合先 県こころ
とからだの相談支援センタ
1 097 541 52
7 6

県政出前講座

県民の皆さんの会合など
に、県庁の幹部職員が出向
いて、県政テーマの説明と
意見交換を行います。

問合先 県企画振興部
097 506 2091

提出・問合先 県消防設

リフォーム・新築工事

既存建物の耐震化工事行います



仲良く 楽しく 誠実に
有限会社 **樋口建設**
樋口 浩 一級建築士事務所
一級施工管理技士、木造住宅耐震診断士

日出町 3408-2(産業道路入口) ☎ 72-8486
http://www.higuchiy.com FAX 72-9595

救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院

サンライズ酒井病院

◆診療科目

整形外科・脳神経外科・外科
内科(消化器、呼吸器、循環器、血液)
リハビリテーション科・リウマチ科

◆附属施設

介護老人保健施設 サンライズ・ビュー(73-2822)
グループホーム サンライズ (28-0770)
ショートステイ サンライズ (72-1111)

日出町(JR陽谷駅前) ☎0977-72-2266
医療法人 平成会ホームページ http://www.heiseikai.com/

相談

心の健康相談

専門医師による医療相談及び保健師による保健福祉に関する一般相談日を設定、認知症やその他の精神保健医療福祉に関する相談を行います。

とき 毎月第2水曜及び、第4火曜 14時～

*前日までに要電話予約。

ところ 県東部保健所

問合先 県東部保健所

67 2511

消防設備士試験

願書は、6月7日(木)から県下各消防(局)本部などで配布します。

とき 9月2日(日)10時

ところ 日本文理大学

種類 全類

願書受付期間

電子申請 7月3日(火)

15日(日)

書面申請 7月6日(金)

18日(水)

提出・問合先 消防試験

研究センター大分県支部

097 537 0427

調理師試験

試験

大分県職員採用選考

平成24年度大分県職員採用選考を実施します。

受付期間 7月6日(金)まで。

第1次試験日 7月29日(日)

問合先 県総務部 09

7 506 2305

インターネット 6月26

日(火)～7月5日(木)

郵送または持参 7月2

日(月)～7月10日(火)

第1次試験日 9月9日

日

問合先 人事院九州事務

局 092 431 77

33

毒物劇物取扱者試験

とき 8月7日(火)

ところ 大分短期大学

願書受付期間 6月11日

月)～22日(金)

問合先 県東部保健所

67 2511

その他

近代の馬上金山と成清家



馬上金山は、県を代表する鉱山でした。この展示で

は、馬上金山とその経営にあつた成清家の歴史とコレクションを紹介します。

展示期間 7月1日(日)まで

ところ 県立歴史博物館

問合先 県立歴史博物館

097 8 37 2100

大分高専オープンキャンパス 2012

とき 7月7日(土)9

時30分～15時

ところ 大分工業高等専門学校

内容 高専生が行う体験学習や模擬実験。学校説明会や学生クラブ活動紹介など

参加費 入場無料・予約不要

問合先 大分工業高等専門学校 097 552 6450

休日エイズ検査

検査は匿名・無料でを行い、結果は採血後約30分で判明します。予約制なので、事前に電話をしてください。

検査は匿名・無料でを行い、結果は採血後約30分で判明します。予約制なので、事前に電話をしてください。

一般歯科・矯正歯科・小児歯科

山下歯科医院

YAMASHITA DENTAL

陽谷駅前、サンライズ酒井病院よこ

別府方面 10分

宇佐方面 10分

特設方面

山下歯科医院

藤原町役場

診療時間

平日：9:00～13:00 / 14:30～19:00
土：9:00～13:00 / 14:30～18:00
休日：木・日・祝

速見郡日出町3184番地 TEL.0977-28-0058

消化器科・肛門科・外科・内科
泌尿器科・人工透析・リハビリテーション科

鈴木病院

医療法人 久寿会

速見郡日出町3904番6
TEL(代) 0977-73-2131

SUZUKI

すずらんクリニック
介護施設すずらん

速見郡日出町藤原1691番地1
TEL(代) 0977-73-2151

<http://www.suzuki-hp.or.jp>

とき 6月10日(日) 9時〜16時
 ところ 県東部保健所
 申込・問合先 エイズ相談
 電話 67 7040

おもちゃの部屋

別府の商店街の一角で、
 アーティストが手作りした
 竹や布のおもちゃを使って
 自由に遊べます。

とき 6月11日(月) 13日(水) 10時〜15時

ところ 別府市プラッタ
 フォーム01

参加費 無料・予約不要
 対象年齢 0歳〜

問合先 BEPPUP
 PROJECT 22 35
 60

求人

【正社員】

障がい者の支援業務1名
 作業員5名 検査・洗浄
 作業員1名 鉄骨及び鳶工
 5名 機動隊員1名 美容
 師2名 営業・販売1名
 臨床工学技士1名 旋盤工

1名 理容師1名 はんだ
 検査装置オペレーター1名
 警備員5名 竹製品製造
 工1名 介護職員5名 店
 内接客・配達1名 受付・
 案内1名 リフレクソロジ
 ー2名 看護師1名 成形
 オペレーター2名 産業廃
 棄物収集運搬処理2名 タ
 クシー乗務員2名 保育士
 1名 生活相談員1名 介
 護職リーダー3名 作業員
 (障)3名 鶏卵パッキン
 グ4名 営業4名 自動車
 整備士2名

パート

レジ業務・販売4名 飲
 食店店員2名 駐車場警備
 員5名 カウンタースタッフ
 5名 指導員2名 調理
 補助2名 成形オペレータ
 ー1名 タクシー乗務員3
 名 一般事務1名 水産物
 の加工1名 一般事務及び
 配達1名 訪問介護8名
 理学療法士2名 店内接
 客・配達1名 ネット通販
 業務1名 食器洗浄員2名
 浴場クリーンクルー1名
 工場内作業3名 配達業
 務1名 製品検査員2名
 障がい者・高齢者宅訪問登

録ヘルパー5名 ホームへ
 ルパー5名 コンビニ店員
 1名 生花配達及び販売2
 名 薬剤師2名 書店販売
 員3名 介護職員1名 新
 聞販売店員1名
 問合先 ハローワーク別
 府 23 8609

お誕生おめでとう

(内は保護者名・地区名)

松浦 結菜 勝幸 中の三
 本田 大知 祐介 辻園地北
 葛城 奏 卓也 若宮
 菊次 見妃 永一 日出本町
 屋田 桜子 英樹 佐尾
 阿部 優風 浩之 佐尾
 奈須 希也 誠司 上仁王
 後藤 心優 隆宏 東仁王
 津山 結愛 雄一郎 東仁王
 高茂 梨花 亮 東仁王
 古賀 咲(正義) 日出園地
 上杉 悠琉 雅宏 南部
 谷口 咲斗 大地 南部
 田中 星羅 健吾 一北
 佐藤 叶汰 仁 則次
 榎原 心暖 芳嗣 平原
 利光 瑛茉 正仁 南大神
 河野 悠(信也) 大神中央

山口 遠真 勝寛 三尺山
 大川 星南 貴司 三尺山
 大本 陽生 展也 日比の浦
 佐藤 大和 公康 軒の井

「冥福をお祈りいたします」

(内は行年・地区名)

三浦 又三子 80 真那井
 小石 一郎 79 照川
 山口 忠 75 牧の内
 松本 観次 102 港
 藤川 富子 94 日比浦
 田北 貞子 93 千騎
 三枝アサ子 87 千騎
 反葉 誠吾 67 辻の尾
 青柳 睦江 87 則次
 渡邊 美代 92 則次
 阿南 シズ子 89 中部
 西大 光代 81 東部
 赤山 基彰 68 佐尾
 渡邊 八十子 85 西八日市
 佐藤 公男 78 中央
 米田 清次 74 北浜
 角田 武 67 西の一
 藤原 旦三 61 西の三
 片野 艶子 79 影の木
 *以上4月届出分(敬称略)

4月発注分の公共工事を報告します。

町道則次線配水管布設工事
 則次地区の町道則次線に上水道本管 50
 mmの設置を行います。
 問合先 契約検査室 73-3117

腎臓内科 循環器科 内科 血液透析

こうまつ 循環器科 クリニック

医療法人 泰晋会 日本循環器学会認定 循環器専門医 医学博士 院長 幸松晃正

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	●	休	●	●

休診日: 日曜・祝日

速見郡日出町3852番地6ベスト電器前
 ☎(0977)73-0077
<http://koumatu.or.jp/>

参加することが理解のスタート

1人じゃないことを知ってほしい☆



No. 27

輝くひび人☆

リレー・フォー・ライフ大分
実行委員会 副実行委員長
谷口 ^{みちのり} 道德さん(68)
(大神三尺山)

「がん細胞は24時間、細胞分裂を続け眠りません。がん患者の闘いも24時間続きます。アメリカの対がん協会の医師が陸上競技場を24時間走り続けました。彼の走る姿を見た仲間が、自分たちは走れないが代わりにトラック1周走ることによって募金をしたのがリレー・フォーライフの始まりです」と、語ってくれたのは、谷口道德さん。

47歳で大腸がん、その10年後に悪性リンパ腫と診断され、一人で悩む悶々とした生活が続いていました。

ある日、新聞記事で「大分がんサロン」の存在を知りました。

がん患者や支える家族などが集まって語り合うサロンを訪れた谷口さんは、身を案じてくれるが故に自分の家族には打ち明けられなかった悩みや不安を、同じ境遇の患者さんと冗談交じりに話すことで、心が軽くなると共に勇気づけられたといいます。

大分がんサロンが運営するリレー・フォー・ライフに参加するようになったのは3年前。「サバイバー」と呼ばれるがん経験者や一般の参加者が作るチームが入れ替わりながらリレー方式で24時間歩き続けます。



歩きながら、同じ境遇の人と様々な話をし、励まし合う。一人ではないことを知り、改めて自分の人生を考え、希望を持つ。そんな体験ができることを他の人にも知ってほしいという思いから、5月20日(日)保健福祉センターで「リレー・フォーライフのキックオフ&ミニリレー」を開催しました。

谷口さんは、趣旨説明をしながら町内の患者さんの元を一軒

ずつ回り、白いフラグに手形を集めました。町長直筆の励ましの言葉も入れられた日出町オリジナルフラグが、会場に飾られました。

「参加することが理解のスタート」と、毎月の血液検査が欠かせないながらも、どうしたら多くの人に情報を伝えることができるかを考え、次の企画の準備をする仲間との日々に、自らも元気づけられているそうです。

日出町の人のおぎ

平成24年5月1日現在の
住民基本台帳の登録人口

世帯数	11,688	+ 66	+ 66
人口	28,695	+ 52	+ 52
男	13,771	+ 42	+ 42
女	14,924	+ 10	+ 10
南端	323	+ 3	
豊岡	7,278	+ 26	
日出	5,863	- 7	
藤原	3,868	+ 5	
川崎	5,920	(+ 31)	
大神	5,443	- 6	

○) 内は前月比
□) 内は今年4月1日比